



1 土砂崩れが発生した被災地の今。2~3 防災無線で放送を受け、住民が避難を開始。要救護者もリヤカーで救助するなど本番ながら。4~5 消防団第7分団が指揮を執り、地域防災の意識向上を図った。6 嶋野町長、矢野議長、永末区長が石碑を除幕。7~8 炊き出し訓練も行われ、参加者に振舞われた。9 住民が作成した防災マップで危険箇所を再確認。

自転車運転者講習制度

のまて 新しい自転車運転のルールを知り、違反を無くして命を守ろう！

身近で手軽な交通手段「自転車」。少しの気の緩みで重大事故の原因に。

道路交通法改正で6月1日から「自転車運転者講習制度」が施行され、下記のような「危険行為」を行い、2回以上摘発された運転者に対して、講習(1回3時間5千700円)が義務づけられました。講習を受けなかった場合、「5万円以下の罰金」などの罰則も新たに設けられています。

罰則が厳しくなった背景には、自転車での交通事故の多さがあります。自転車は交通事故全体の約2割を占め、事故に関係した運転者の6割以上が法令違反。特に、信号無視、二人乗り、携帯電話使用、イヤホン使用、遮断踏切立ち入りなど、「自転車なら大丈夫」といった感覚で運転し、事故を起こしたり被害にあつたりするケースが多く見られます。

ここ数年、自転車事故の加害者に高額な賠償金を命じる判決が相次ぎ、小学5年生の自転車にはねられた女性が寝たきり状態になり、裁判所は児童の親に約9千500万円の賠償を命じました。

私たちの大切な子どもたちが加害者にも被害者にもならないように、そして町民の命と安全を守るためにも、みんなで自転車で交通ルールを厳守するようにしましょう。

要確認「14の危険行為」～自転車も軽車両です!～

- | | | |
|----------------------|------------------------|-------------------------------|
| ① 信号無視 | ⑦ 警報機の鳴っている踏切への立ち入り | ⑫ 歩道での通行方法違反(歩行者妨害など) |
| ② 通行禁止違反 | ⑧ 信号のない交差点での優先車の通行妨害など | ⑬ ブレーキ不良自転車の走行 |
| ③ 歩道での義務違反(徐行をしないなど) | ⑨ 交差点右折時の直進車の妨害など | ⑭ 安全運転義務違反(傘さし、携帯電話使用、片手運転など) |
| ④ 通行区分違反 | ⑩ 環状交差点での他の車両の通行妨害など | |
| ⑤ 酒酔い運転 | ⑪ 一時停止の無視など | |
| ⑥ 路側帯での歩行者の妨害 | | |
- ※①~⑭以外でも警察官の再三の指導に従わない場合は検挙の対象になります。

pick up 危険行為の具体例～「つつい…」も違反です!～

<p>▶ 危険な運転</p> <p>携帯電話やスマートフォンを使用しながらの運転、イヤホンで大音量を流しながらの運転、傘差し運転など。</p>	<p>▶ 標識の無視</p> <p>一旦停止を無視しての交差点進入や交差点を走る車両の邪魔をすること(「自転車は除く」の標識がある場合は除く)。</p>	<p>▶ 歩行者妨害</p> <p>歩行者に注意せず、または徐行などせず、歩行者の通行を妨げるような速度と方法で通行する行為。</p>	<p>▶ 飲酒運転</p> <p>酒に酔って正常な運転ができない状態や疲労・病気・禁止薬物などの影響により正常な運転ができない状態。</p>
---	--	---	--

実行委員
福智町
福智町教育委員会
福智町交通安全協会

Pickup Topics

● 上弁城避難訓練・防災の日石碑除幕式

主催/方城第1区・福智町社会福祉協議会・福智町

風化させず 次代へ継ぐ

6年前に起きた災害の経験と教訓を生かし、福智町は地域とともに災害に強いまちづくりへの歩みを進めています。ここでは7月26日に行われた「上弁城避難訓練・防災の日石碑除幕式」の様子を写真でお知らせします。



平成21年7月24日、記録的な大雨をもたらした、水害や土砂災害を引き起こした「中国・九州北部豪雨」。町でも豪雨が3日間にわたって降り続き、土砂崩れで民家2棟が崩壊、5人が生き埋めとなり、うち1人の尊い命を失いました。あの経験と教訓を永久に忘れないよう、町は昨年、7月24日を「防災の日」に制定。その施行1年を記念し、7月26日に上弁城集会所に建立した「福智町防災の日を定める碑」の除幕式を挙行了しました。

除幕式に先立ち、上弁城地区で土砂災害を想定した避難訓練を実施。消防団第7分団の指揮のもと、住民70人が声を掛け合いながら、実践さながらの訓練を行いました。区長の永末信一さんは「災害は忘れた頃にやってくるもの。地元で起き

た土砂災害を風化させず、後世に語り継いでいきたい」と住民発の大規模防災訓練の意義をかみ締めていました。

除幕式には関係者など約150人が出席し、被災者へ黙祷をささげたのち、石碑の除幕を挙行。青空に黒く輝く石碑の前に、地域・行政・関係機関が連携した防災体制の強化や災害に負けないまちづくりの推進を参加者全員で誓いました。

豊かな自然に抱かれる福智町だからこそ、大自然の脅威とは隣り合わせ。自然と共存しながら、住民・地域・行政が力を合わせ、災害から身を守る術と心構えを持ち続けることが大切です。

